

## ITスキルアップ講座 シラバス一覧

講座名	
ITパスポート	情報ストラテジ
	情報テクノロジー
	情報マネジメント
マナープロトコール	
観光・ビジネス概論	
職業人講話	
DX実践	
データマーケティング	
WEB・グラフィック	
PBL	
キャリアガイダンス	

講座名	ITパスポート(情報ストラテジ)		
概要	ITパスポート試験は、 ・IT技術を積極的に業務に活用して、改善ができる。 ・課題や問題に対し、IT技術を有効に活用できる。 ・IT技術を法令に基づき安全に活用できる。 というような情報技術を正しく利活用できる人材を育成すべく、職業人が共通に備えておきたいIT(情報技術)に関する知識レベルを測る国家試験となっている。 DXを推進する上で必須となるIT(情報技術)知識を修得し、ITパスポート試験の合格を目指す。		
到達目標	ITパスポート試験(情報ストラテジ系)での正答率が60%以上獲得できる知識を修得する。		
講義計画	内 容		時間(分)
	1	企業と法務(1) 企業活動 経営・組織論	90
	2	企業と法務(2) 企業活動 会計・財務	90
	3	企業と法務(3) 業務分析・データ利活用(その1)	90
	4	企業と法務(4) 業務分析・データ利活用(その2)	90
	5	企業と法務(5) 法務(その1)	90
	6	企業と法務(6) 法務(その2)	90
	7	経営戦略 経営戦略マネジメント	90
	8	経営戦略 技術戦略マネジメント/ビジネスインダストリ	90
	9	システム戦略(1)	90
	10	システム戦略(2) システム企画	90
	合計		分 時間
教材	パワーポイント、資料 等		
評価方法	練習問題での得点及び出席状況		

講座名	ITパスポート(情報テクノロジー)		
概要	ITパスポート試験は、 ・IT技術を積極的に業務に活用して、改善ができる。 ・課題や問題に対し、IT技術を有効に活用できる。 ・IT技術を法令に基づき安全に活用できる。 というような情報技術を正しく利活用できる人材を育成すべく、職業人が共通に備えておきたいIT(情報技術)に関する知識レベルを測る国家試験となっている。 DXを推進する上で必須となるIT(情報技術)知識を修得し、ITパスポート試験の合格を目指す。		
到達目標	ITパスポート試験(情報テクノロジー系)での正答率が60%以上獲得できる知識を修得する。		
講義計画	内 容		時間(分)
	1	ITパスポートについて・練習問題	90
	2	コンピュータの基本構成1 コンピュータの基本構成/プロセッサ	90
	3	コンピュータの基本構成2 メモリー/補助記憶装置	90
	4	コンピュータの基本構成3 入出力装置/情報(データ)の表現方法	90
	5	データの表現方法1 文字データの表現/2進数/8進数/10進数/16進数の関係/基数とは	90
	6	データの表現方法2 基数と補数の考え方/誤差の種類	90
	7	ITの基礎知識1 集合と論理回路/論理演算	90
	8	ITの基礎知識2 確率と統計	90
	9	ITの基礎知識3 統計解析の基礎(Excelを用いた演習)	90
	10	ITの基礎知識4 AI技術の活用について コンピュータソフトウェアについて1 OS(オペレーティングシステム)基本機能	90
	11	コンピュータソフトウェアについて2 オフィスツールやオープンソースソフトウェアについて	90

	12	コンピュータシステムの構成と形態 システム構成	90
	13	コンピュータシステムの信頼性について システムの性能, 信頼性, 経済性を評価 データベースシステムについて1 データベースの意義/データベースの元となるデータの分析・設計について	90
	14	データベースシステムについて1 データベースの意義/データベースの元となるデータの分析・設計について	90
	15	データベースシステムについて2 データベースの操作	90
	16	ネットワークシステムについて1 ネットワークに関する知識 ネットワークシステムについて2 ネットワーク	90
	17	インターネットの仕組み インターネットの基本的な仕組みとサービスの特徴 情報セキュリティについて1 情報セキュリティの基本/情報セキュリティの脅威①	90
	18	情報セキュリティについて1 情報セキュリティの基本/情報セキュリティの脅威① 情報セキュリティについて2 情報セキュリティの脅威②/情報セキュリティ管理について	90
	19	情報セキュリティ対策について1 情報セキュリティ対策の基本的な考え方と対策 情報セキュリティ対策について2 情報セキュリティ維持のためのアクセス制御・暗号化	90
	20	練習問題と解説	90
	合計		分 1800
			時間 30
教材	パワーポイント、資料 等		
評価方法	練習問題での得点及び出席状況		

講座名	ITパスポート(情報マネジメント)		
概要	ITパスポート試験は、 ・IT技術を積極的に業務に活用して、改善ができる。 ・課題や問題に対し、IT技術を有効に活用できる。 ・IT技術を法令に基づき安全に活用できる。 というような情報技術を正しく利活用できる人材を育成すべく、職業人が共通に備えておきたいIT(情報技術)に関する知識レベルを測る国家試験となっている。 DXを推進する上で必須となるIT(情報技術)知識を修得し、ITパスポート試験の合格を目指す。		
到達目標	ITパスポート試験(情報マネジメント系)での正答率が60%以上獲得できる知識を修得する。		
講義計画	内 容		時間(分)
	1	ITパスポートについて・練習問題	90
	2	ソフトウェアのアルゴリズム1 データ構造とプログラミング言語	90
	3	ソフトウェアのアルゴリズム2 代表的なアルゴリズム(ソート・マージ・サーチ)	90
	4	システム開発技術1 システム開発プロセス	90
	5	システム開発技術2 実装管理技術・システム工程テスト	90
	6	プロジェクトマネジメント1 プロジェクトマネジメント/プロジェクトタイムマネジメント	90
	7	プロジェクトマネジメント2 プロジェクトマネジメント/その他の知識エリア	90
	8	サービスマネジメント1 サービスサポート・サポートデリバリー	90
	9	サービスマネジメント2 ファシリティマネジメント・監査業務内部統制	90
	10	練習問題と解説	90
	合計		分 900
			時間 15
教材	パワーポイント、資料 等		
評価方法	練習問題での得点及び出席状況		

講座名	マナープロトコール	
概要	<p>観光業(旅行業、交通業界、宿泊業、飲食産業、アミューズメント産業、土産物産業、旅行関連産業、イベント産業等)幅広く包含した産業であり、日本経済を大きく支え、非常に影響力が大きい。新型コロナウイルス感染により大きな営業を受けた観光業界を維持し盛り上げていくため、観光業で働く人材の知識と技術の向上とさらなるスキルアップが求められる。</p> <p>本講座では、観光産業に従事する者が、「新たな生活様式」に基づき、どう接客しどう対応するかを学んでいく。さらに、行政や企業との連携をするための方法やそれに基づく基本的ビジネスマナー、プロトコールを習得し、観光業におけるコミュニケーションスキルを高めていく。</p>	
到達目標	<p>本コースの到達目標は以下のとおりとする</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. プロトコールの基礎を理解している</li> <li>2. 観光マーケティングの基礎を理解している</li> <li>3. 「自立」と「共存」のためにどんな考え方や行動習慣が必要か理解している</li> <li>4. 観光業界で働くためのコミュニケーションスキルを身につけている</li> <li>5. 観光業界で働く人材として、学んだことを使って活躍できる</li> </ol>	
講義計画	内 容	時間(分)
1	オリエンテーション、マナーの基本 ～マナーの歴史、接客の5原則、基本動作	90
2	マナーの基本 ～名刺、紹介、席次	90
3	言葉遣い ～敬語演習	90
4	言葉遣い ～感じの良い表現	90
5	来客対応 ～受付、取り次ぎ、ロールプレイング	90
6	来客対応 ～案内、接待(お茶の出し方)、見送り、ロールプレイング	90
7	訪問のマナー ～訪問のマナー、ロールプレイング	90
8	電話対応 ～電話対応の基本、受け方、取り次ぎ実践、ロールプレイング	90
9	電話対応 ～対応実践(不在時の取り次ぎ、伝言)、ロールプレイング	90
10	電話対応 ～対応実践(クレーム対応)、ロールプレイング	90
11	ビジネス文書 ～社内文書、社外文書、メールの様式	90

12	ビジネス文書 ～手紙のマナー、出欠はがき、封筒、あて名	90
13	冠婚葬祭 ～金子包み、贈答のマナー	90
14	パーティーのマナー ～和洋中のテーブルマナー、パーティーの種類、ドレスコード	90
15	コミュニケーション ～話す・聴く技能 (電話対応技能発表の課題発表)	90
16	アサーション ～アサーティブな表現	90
17	電話対応技能発表の課題について対応練習	90
18	マナープロトコール検定対策	90
19	総合演習(成果発表) ～電話対応技能発表	90
20	総合演習(成果発表) ～電話対応技能発表	90
合計		分 1800
		時間 30
教材	パワーポイント、資料 等	
評価方法	電話対応技能発表(受講生・先生方に審査いただく)、レポート提出	

講座名	観光ビジネス概論		
概要	<p>観光業(旅行業、交通業界、宿泊業、飲食産業、アミューズメント産業、土産物産業、旅行関連産業、イベント産業等)幅広く包含した産業であり、日本経済を大きく支え、非常に影響力が大きい。新型コロナウイルス感染により大きな営業を受けた観光業界を維持し盛り上げていくため、観光業で働く人材の知識と技術の向上とさらなるスキルアップが求められる。</p> <p>本講座では、観光産業やそれにまつわる観光ビジネスの基本(移動・宿泊・観光・地域資源・観光商品・地域マーケット・町おこしイベント)について学び、顧客の行動や仲介サービスなど、関連企業や関連組織の流通と事業活動のつながりを学ぶ。</p>		
到達目標	<p>本コースの到達目標は以下のとおりとする</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 観光ビジネスの基本を理解している</li> <li>2. 観光ビジネスにかかわる産業を理解している</li> <li>3. 観光業が経済に影響を及ぼす内容について理解している</li> <li>4. 観光業で働く人材として、学んだことを使って活躍できる</li> </ol>		
講義計画	内 容		時間(分)
	1	オリエンテーション 観光の可能性と山口県でのスポーツ観光	90
	2	観光政策と地域振興	90
	3	観光業界のIT化	90
	4	山口県の観光政策と観光産業の動向	90
	5	さまざまな観光ビジネス ～旅行産業について	90
	6	さまざまな観光ビジネス ～宿泊産業について	90
	7	さまざまな観光ビジネス ～交通産業について	90
	8	さまざまな観光ビジネス ～観光施設、テーマパークについて	90
	9	さまざまな観光ビジネス ～観光商品(観光土産品、土産物)について	90
	10	観光政策～関連企業や関連組織とのかかわり方について	90
	11	観光業界で働く～就職事情や活動、働き方について	90



	12	さまざまな観光ビジネス ～観光ビジネス(町おこし・集客イベント、マーケット)について	90
	合計		分 1080
			時間 18
教材	パワーポイント、資料 等		
評価方法	受講後のレポートにて評価		

講座名	職業人講話		
概要	<p>観光業(旅行業、交通業界、宿泊業、飲食産業、アミューズメント産業、土産物産業、旅行関連産業、イベント産業等)幅広く包含した産業であり、日本経済を大きく支え、非常に影響力が大きい。新型コロナウイルス感染により大きな営業を受けた観光業界を維持し盛り上げていくため、観光業で働く人材の知識と技術の向上とさらなるスキルアップが求められる。</p> <p>本講座では、観光産業やそれにまつわる観光ビジネスの基本(移動・宿泊・観光・地域資源・観光商品・地域マーケット・町おこしイベント)について学び、顧客の行動や仲介サービスなど、関連企業や関連組織の流通と事業活動のつながりを学ぶ中で、実際に現場で活躍されている職業人より、現状の業界や最新の情報について知る。</p>		
到達目標	<p>本コースの到達目標は以下のとおりとする</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 観光ビジネスの基本を理解している</li> <li>2. 観光ビジネスにかかわる産業を理解している</li> <li>3. 観光業が経済に影響を及ぼす内容について理解している</li> <li>4. 観光業で働く人材として、学んだことを使って活躍できる一シヨンスキルを身につけている</li> <li>5. 観光業界で働く人材として、学んだことを使って活躍できる</li> </ol>		
講義計画	内 容		時間(分)
	1	観光とは ～山口県の観光について	90
	2	山口県の旅行産業について	90
	3	山口県の宿泊産業について	90
	4	山口県の交通産業について	90
	5	山口県の観光施設について	90
	6	山口県の観光商品について	90
	7	山口県のまちおこし、地域イベントについて	90
	8	観光業界で働く人々、かかわる人々	90
	合計	分	720
		時間	12
教材	パワーポイント、資料 等		
評価方法	受講後のレポートにて評価		

講座名	DX実践		
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンのセッティング</li> <li>・ネットワークの設定</li> <li>・グループウェアの活用(TEAMS GOOGLE)</li> <li>・SNS活用のルールとセキュリティ・個人情報保護</li> <li>・動画作成の基礎実習</li> <li>・DXによる業務効率化・改善検討</li> </ul>		
到達目標	(1) 講座利用ソフトのセッティングと基本的利用ができる (2) ネットワークの設定とクラウドの基礎的活用ができる (3) クラウドのセッティングの活用ができる (4) SNSの種類と特性を理解して、利用することができる 個人情報を含めたセキュリティルールを理解して活用することができる (5) 簡単な動画を作成して活用することができる (6) 簡単なRPAを作成できる		
講義計画	内 容		時間(分)
1	オリエンテーション(授業の進め方、留意点、学習内容など) 講座利用ソフトのセッティングなど Teamsログイン設定	90	
2	ネットワークの設定とクラウドの基礎的活用 Teamsの使い方(投影、ファイル、会議、チャット)	90	
3	クラウドのセッティング AdobeCreativeCroudログイン設定	90	
4	クラウド活用実習 Teamsの使い方ふりかえり(会議設定、使い方等)	90	
5	クラウド活用実習 Teamsによるオンライン会議(会議の方法、管理)	90	
6	DX概論 ①DX概論(DXとは、IT化との違い、2025年の壁) ②DXに関する用語(ビッグデータ、AI、RPA 等)	90	
7	グループウェアの基本的操作 ①Googleの使い方 ②アカウント作成 ③メール	90	
8	グループウェアの基本的操作 ①メール(送受信、リスト 等) ②カレンダー(設定、修正 等)	90	
9	グループウェアの基本的操作 ①Googleカレンダー(リスト、会議設定) ②Googleドライブ(フォルダ)	90	

10	グループウェアの基本的操作 Googleドライブ(データやファイルの共有、 Googleドキュメントの特徴 等)	90
11	個人情報保護&セキュリティ ①情報セキュリティ ②情報セキュリティに関する法律 ③個人情報保護法	90
12	グループウェアの基本的操作 Googleフォーム(アンケート、テスト)	90
13	動画編集(講師紹介、受講生自己紹介)	90
14	動画編集(各種動画視聴)	90
15	SNSの種類と特徴&セキュリティ	90
16	動画編集(動画の編集の仕方)	90
17	動画編集(動画の編集演習)	90
18	SNSのセッティングと基本的操作	90
19	SNSのセッティングと基本的操作	90
20	動画編集(動画の編集演習)	90
21	動画編集(動画の編集演習)	90
22	動画編集(動画の編集演習)	90
23	動画編集(動画の編集演習)	90
24	DX活用による業務効率化・改善(事例研究)	90
25	DX活用による業務効率化・改善(事例研究)	90
26	RPAの活用	90

	27	論理的思考、VBAについて	90
	28	総合実習(RPA実践)	90
	29	総合実習(RPA実践)	90
	30	総合実習制作発表	90
	合計		分 2,700
			時間 45
教材	パワーポイント、資料 等		
評価方法	受講後のレポート等にて評価		

講座名	データマーケティング		
概要	<p>観光産業に従事する者が、自身の業務の生産性の向上や働く企業の業績向上につながるように、ビッグデータを活用するスキルやマーケティングの基礎知識の習得を目指すものである。</p> <p>観光マーケティングの基礎知識を理解し、観光に関するオープンデータ・ビッグデータを読むことができるようになることで、効率的なマーケティング戦略書を作成することも可能となる。なお、最終的には学んだスキルや知識を活用して作成するマーケティング戦略書は皆の前で発表することとする。</p>		
到達目標	<p>本コースの到達目標は以下の5点である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 観光マーケティングの基礎を理解すること</li> <li>2. 観光に関するオープンデータ・ビッグデータを読み、自身の業務に活用できること</li> <li>3. 統計に関する基本を理解し、エクセル等を使ってデータを分析ができること</li> <li>4. マーケティングのフレームを活用して、自社・自組織のマーケティング戦略書が作れること</li> <li>5. 作成したマーケティング戦略書のプレゼンテーションができ、社内外の人間を動かすことができること</li> </ol>		
講義計画	内 容		時間(分)
	1	観光業におけるデータマーケティングの基礎(観光マーケティングの重要性)(観光データの活用方法)	90
	2	観光マーケティング基礎(観光マーケティングの定義、ニーズとウォンツ、STP)(マーケティングミックスの理解、競合優位性とディステーションライフサイクルの理解)	90
	3	観光マーケティング基礎(地域ビジョンの理解、推進体制作りとKGI、KPI、PDCAの重要性)(観光マーケティングに関する確認テストと解説)	90
	4	観光デジタルマーケティング基礎(デジタルマーケティングの基本、インターネット広告の基本)(ニューメディアの理解、観光シーンにおけるSNSの活用)	90
	5	観光デジタルマーケティング基礎(観光デジタルマーケティングに関する確認テストと解説)オープンデータ・ビッグデータの活用方法(観光に関するオープンデータの種類とその見方)	90
	6	オープンデータ・ビッグデータの活用方法(観光に関するビッグデータの種類とその見方)(オープンデータとビッグデータを活用した演習)	90
	7	オープンデータから分析する地域特性・顧客特性(観光庁データの活用をしたマーケティング分析)(JNTOデータの活用をしたマーケティング分析)	90

8	オープンデータから分析する地域特性・顧客特性(観光庁データ、JNTOデータの活用をした演習)ビッグデータの活用(RESASを活用した演習)	90
9	その他観光に関するデータ活用方法(Google TrendなどGoogleが提供するデータの見方)(Google TrendなどGoogleが提供するデータの活用演習)	90
10	その他観光に関するデータ活用方法(Online travel Agent のマーケティングデータの見方)	90
11	その他観光に関するデータ活用方法(Online travel Agent のマーケティングデータを活用した演習)プライマリーデータの活用方法(プライマリーデータの理解と活用方法)	90
12	プライマリーデータの活用方法(アンケート、インタビュー、オブザベーションの方法)(アンケートデータの分析方法)	90
13	プライマリーデータの活用方法(アンケートデータの分析演習)	90
14	基本的な統計・ビックデータの分析スキル(統計学の基礎)ビックデータとはなにか・Excel基本操作・データの種類	90
15	基本的な統計・ビックデータの分析スキル(統計学の基礎)代表値の算出・代表値の読み取りと意義	90
16	基本的な統計・ビックデータの分析スキル(統計学の基礎)散布度と算出・散布度の読み取りと意義	90
17	基本的な統計・ビックデータの分析スキル(グラフの特徴と見せ方)分析用グラフ・折れ線グラフ・散布図など・説明用グラフ・円グラフ・バブルチャートなど	90
18	データ分析の流れ①全体の流れ、課題設定・データの準備・データクレンジング ②分析計画と分析・結果の読み取り	90
19	ここまでの振り返り演習(統計学の基本からデータ分析の流れ)	90

20	データ分析以前の着眼点 事実と意見①事実と意見の違い・代表的な混同②事実と意見を分ける演習	90
21	データ分析以前の着眼点 そもそも統計とは何か①統計の基本的な姿勢②統計でわかること・わからないこと	90
22	データ分析以前の着眼点 確率(場合の数)①確率とは何か・日常に潜む確率②いかにして数えるか・場合の数の基本	90
23	データ分析以前の着眼点 確率(場合の数)③複雑なものを簡単に数える考え方(確率の計算)①確率計算の基本	90
24	データ分析以前の着眼点 確率(確率の計算)②直感からではわからないこと③確率で考える・確率の利活用	90
25	データ分析以前の着眼点 実数と割合の使い分け データの読み方 仮説と次の調査の立案①仮説とは何か・仮説の作り方	90
26	データの読み方 仮説と次の調査の立案②データの読み取りと次の調査③演習:分析結果から次の調査を考える	90
27	ここまでの振り返り演習(着眼点と読み方)	90
28	基本的な統計・ビックデータの分析スキル(データの掛け合わせ)①相関と相関係数②クロス表	90
29	基本的な統計・ビックデータの分析スキル(分析モデル)①分析モデルの種類②単回帰分析モデルの作成	90
30	身近なデータでの掛け合わせ①データの準備・仮説設定②分析の実施	90
31	データ分析以前の着眼点 データの偏り①なぜデータは偏るのか・代表的なデータの偏り方②偏りの見破り練習	90



32	データ分析以前の着眼点 相関と因果①相関と因果の違い・代表的な混同②混同の見破り練習	90
33	ここまでの振り返り演習(データの掛け合わせと分析モデル)	90
34	データに騙されない方法①データでの騙し方・騙されないデータの見方②演習:資料の読み取りと見破り	90
35	ケーススタディ 公的データの分析と提案①テーマ発表・分析計画②データ収集の続き	90
36	ケーススタディ 公的データの分析と提案③データ分析・結果の読み取り④結果の発表	90
37	実業務データでの分析実習①仮説構築・データの選出②データ選出・収集	90
38	実業務データでの分析実習③データの分析④結果の読み取り・次の調査立案	90
39	演習結果発表①演習結果の発表と相互フィードバック	90
40	演習結果発表②演習結果の発表と相互フィードバック 講師からのフィードバックとまとめ	90
41	観光データマーケティング実践①観光DXとデータ活用・データを活用した生活者理解	90
42	観光データマーケティング実践②データを活用した生活者理解_演習_データを活用した生活者理解_発表_フィードバック	90
43	観光データマーケティング実践③生活者・顧客との接点・RESASでの活用方法	90

	44	観光データマーケティング実践④生活者・顧客接点のプランニング方法・プランニング演習	90
	45	観光データマーケティング実践⑤プランニング演習・プランニング発表_フィードバック	90
	46	データを活用したマーケティング戦略の骨子作成(マーケティングデータを活用した現状分析の方法)(マーケティングの戦略フレームを活用した演習)	90
	47	KGI、KPI、PDCAを活用したアクションプラン(アクションプランの作り方)(アクションプランの作成演習)	90
	48	マーケティングデータをもとにした事業計画書作成(企画書作成の基礎)(事業計画作成演習)	90
	49	伝えるためのプレゼンテーションスキル(ビジネスプレゼンテーションの基本)	90
	50	観光メニュー企画演習・発表	90
	合計		分 4,500
			時間 75
教材	動画教材、パワーポイント、資料 等		
評価方法	最終日の企画演習および発表にて評価		

講座名	WEB・グラフィック		
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的なデザイン力やデザインの知識を習得する。</li> <li>・Illustrator の基本的な知識や操作方法を学ぶ。</li> <li>・Photoshop の基本的な知識や操作方法を学ぶ。</li> <li>・WebサイトやモバイルアプリのUI/UXをデザインできるツールである「Adobe XD」の基本操作を学ぶ。</li> <li>・WEBサイトを構成するHTML,CSSの文法からホームページ制作手法までを学ぶ。</li> </ul>		
到達目標	<p>(1) 基本的なデザイン力やデザインの知識を習得し、より効果的な Web バナーやサイトデザインができる。</p> <p>(2) Illustrator の基本的な知識や操作方法を学び、ロゴの制作や名刺など簡単な印刷物のデザインなど、Web デザイナーとして求められる技術を身につける。</p> <p>(3) Photoshop の基本的な知識や操作方法を学び、基本的な写真の加工方法やWeb向けの機能などWeb デザイナーに必須の機能が使用できる。</p> <p>(4) 「Adobe XD」の基本操作を学び、Webサイトのデザインができる技術を習得する。</p> <p>(5) Dream Weaverを使用し、スマホ・PC両対応サイトの制作ができる。</p>		
講義計画	内 容		時間(分)
	1	「デザイン」とは デザイン4つの基本原則	90
	2	デザインにおける「文字」	90
	3	デザインにおける「色」 デザインに役立つ知識や心がけ	90
	4	Illustratorの基本画面について レイヤー操作の基本	90
	5	基本的な図形を描画しよう	90
	6	パスをマスターしよう	90
	7	文字の入力とアウトライン	90
	8	オブジェクトの変形	90
	9	アピアランス・パターン・グラデーション	90
	10	名刺を作ろう-1	90
	11	名刺を作ろう-2 名刺にロゴを追加しよう	90

12	Photoshopの画像を配置してPOPを作ろう	90
13	Photoshopの基本_画面について レイヤー操作の基本	90
14	背景色と描画色 文字を入力する	90
15	シェイプを描く グラデーションを描く パターンを作る・登録する	90
16	画像の補正 ①バナーで覚える画像補正	90
17	画像の補正 ②Webサイトで覚える基本操作と画像加工①	90
18	画像の加工 ①Webサイトで覚える基本操作と画像加工②	90
19	画像の加工 ②Webサイトで覚える基本操作と画像加工③	90
20	キャッチーな画像を作ろう Webサイトのメインビジュアルを作ろう	90
21	バナーを作りながら基本操作をマスターしよう	90
22	Adobe XD 概要 Adobe XD 基本_画面について	90
23	Webレイアウトの理論を知ろう	90
24	シンプルなWebサイトのデザイン ①	90
25	シンプルなWebサイトのデザイン ②	90
26	デザインデータの共有 プロトタイプ パーツの書き出し XDの自己学習におすすめのサイト	90
27	Webページのしくみ ファイルやディレクトリの基本 コーディングの基本ルール	90

28	HTMLの基本 ①	90
29	HTMLの基本 ②	90
30	Webページのひな形を作る	90
31	トップページをマークアップする ①	90
32	トップページをマークアップする ②	90
33	下層ページをマークアップする	90
34	CSSの基本 ①	90
35	CSSの基本 ②	90
36	CSSのコーディング ①	90
37	CSSのコーディング ②	90
38	CSSのコーディング ③	90
39	CSSのコーディング ④ jQueryを活用しよう	90
40	トップページをマークアップする ①	90
41	トップページをマークアップする ②	90
42	下層ページをマークアップする ①	90
43	下層ページをマークアップする ②	90
44	CSSのコーディング ①	90
45	CSSのコーディング ②	90

	46	CSSのコーディング ③	90
	47	CSSのコーディング ④	90
	48	ナビゲーションを作る	90
	49	サイトに動きをつけてみよう	90
	50	サイト公開の準備をしよう サーバーとドメインについて	90
	合計		分 4,500
			時間 75
教材	動画教材、パワーポイント、資料 等		
評価方法	制作物にて評価		

講座名	PBL		
概要	<p>【課題解決型DX人材の育成】 DXとは、既存事業を変革し、新しい価値を提供することである。 そのために必要なダブルダイヤモンドスキル(問題発見力・問題解決力)をPBLを通して修得する。</p>		
到達目標	<p>リーンキャンパスの前半4項目(顧客～ソリューション)について、前段までのプログラムで修得したスキルセットを活用して仮説検証を実施していく。 優れたソリューションを生み出すことが今回のゴールではなく、学んだスキルを使って自律的に課題解決サイクルを回せるようになることを目標とする。</p>		
講義計画	内 容		時間(分)
1	オリエンテーション ～ PBLとは	90	
2	プロジェクトマネジメントスキル ～ プロジェクトにおける15のスキル	90	
3	プロジェクトマネジメントスキル ～ 時間管理・タスク管理	90	
4	PBL実践講習 ～ リーンキャンパスを活用した問題・課題の仮説検証サイクル	90	
5	PBL実践演習(グループワーク) ～ 随時メンタリング	90	
6	PBL実践演習(グループワーク) ～ 随時メンタリング	90	
7	PBL実践演習(グループワーク) ～ 随時メンタリング	90	
8	PBL実践演習(グループワーク) ～ 随時メンタリング	90	
9	PBL実践演習(グループワーク) ～ 随時メンタリング	90	
10	PBL実践演習(グループワーク) ～ 随時メンタリング	90	
11	PBL実践演習(グループワーク) ～ 随時メンタリング	90	
12	PBL実践演習(グループワーク) ～ 随時メンタリング	90	

13	PBL実践演習(グループワーク) ～ 随時メンタリング	90
14	PBL実践演習(グループワーク) ～ 随時メンタリング	90
15	PBL実践演習(グループワーク) ～ 随時メンタリング	90
16	PBL実践演習(グループワーク) ～ 随時メンタリング	90
17	PBL実践演習(グループワーク) ～ 随時メンタリング	90
18	PBL実践演習(グループワーク) ～ 随時メンタリング	90
19	PBL実践演習(グループワーク) ～ 随時メンタリング	90
20	PBL実践演習(グループワーク) ～ 随時メンタリング	90
21	PBL実践演習(グループワーク) ～ 随時メンタリング	90
22	PBL実践演習(グループワーク) ～ 随時メンタリング	90
23	PBL実践演習(グループワーク) ～ 随時メンタリング	90
24	PBL実践演習(グループワーク) ～ 随時メンタリング	90
25	PBL実践演習(グループワーク) ～ 随時メンタリング	90
26	PBL実践演習(グループワーク) ～ 随時メンタリング	90
27	PBL実践演習(グループワーク) ～ 随時メンタリング	90
28	PBL実践演習(グループワーク) ～ 随時メンタリング	90



29	PBL実践演習(グループワーク) ～ 随時メンタリング	90
30	PBL実践演習(グループワーク) ～ 随時メンタリング	90
31	PBL実践演習(グループワーク) ～ 随時メンタリング	90
32	PBL実践演習(グループワーク) ～ 随時メンタリング	90
33	PBL実践演習(グループワーク) ～ 随時メンタリング	90
34	PBL実践演習(グループワーク) ～ 随時メンタリング	90
35	PBL実践演習(グループワーク) ～ 随時メンタリング	90
36	プレゼン作成(グループワーク)	90
37	プレゼン作成(グループワーク)	90
38	プレゼン作成(グループワーク)	90
39	プレゼン作成(グループワーク)	90
40	プレゼン作成(グループワーク)	90
41	プレゼン作成(グループワーク)	90
42	プレゼン作成(グループワーク)	90
43	プレゼン作成(グループワーク)	90
44	プレゼン作成(グループワーク)	90

	45	プレゼン作成(グループワーク)	90
	46	プレゼン作成(グループワーク)	90
	47	プレゼン作成(グループワーク)	90
	48	最終発表準備(グループワーク)	90
	49	最終発表準備(グループワーク)	90
	50	最終発表	90
	合計		分
		時間	75
教材	パワーポイント、資料 等		
評価方法	最終日の発表にて評価		

講座名	キャリアガイダンス	
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己理解</li> <li>・仕事理解</li> <li>・キャリアプランニング</li> <li>・チームビルディング</li> <li>・コミュニケーション</li> <li>・就職活動支援(情報提供、履歴書の書き方指導、面接指導)</li> </ul>	
到達目標	<p>(1) 将来の生活設計と生活上の役割を踏まえながら、自身の適性と価値観や能力を言語化する。</p> <p>(2) 総合的にDXを推進できる知識を業務に転換できるよう学びと仕事を意味付け、企業が求める資質を理解する。</p> <p>(3) 自身が望むキャリア形成を考え、キャリアビジョンを設定し、行動目標を実行する。</p>	
講義計画	内 容	時間(分)
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業訓練の意義と本科目の目的</li> <li>・チームワークとは</li> <li>・自己理解の必要性</li> <li>・コミュニケーション1</li> </ul> <p style="text-align: center;">訓練生全員による自己紹介</p>	90
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアとは</li> <li>・働く意義</li> <li>・自己理解1</li> </ul> <p style="text-align: center;">興味・関心・価値観の整理</p>	90
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各科目の内容と到達目標整理</li> <li>・就職活動の6つのステップ</li> <li>・自己理解2</li> </ul> <p style="text-align: center;">ジョブ・カード理解(目的、作成方法)</p>	90
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応募書類</li> </ul> <p style="text-align: center;">目的 履歴書、職務経歴書の書き方 添え状の書き方 応募書類の提出方法</p>	90
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジョブ・カード作成(各自作成と支援)</li> </ul>	90
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己理解3</li> </ul> <p style="text-align: center;">ワーク(Who am I)</p>	90
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業理解</li> </ul> <p style="text-align: center;">Jobtagによる職業理解と自己理解</p>	90

8	・職業能力開発1 ITパスポート試験対策①	90
9	・面接 目的 面接の概要 服装、所作、流れ、想定質問	90
10	・職業能力開発2 ITパスポート試験対策②	90
11	・求人票の見方 ・就職活動計画の立て方	90
12	・面接実践練習①	90
13	・面接実践練習②	90
14	・「観光ビジネス概論」と「職業人講話」科目ふりかえり(PBLに向けて)	90
15	・各自、現状の整理と就職活動計画作成	90
16	・自己理解4 ワーク(自己の棚卸)	90
17	・コミュニケーション2 リフレーミングと自己理解	90
18	・職業能力開発3 マナー・プロトコール検定対策①	90
19	・職業能力開発4 マナー・プロトコール検定	90
20	・コミュニケーション3 職場でのコミュニケーション	90
21	・職業訓練の振り返り ・これからのキャリアプランニング	90
22	・修了に際しての伝達事項	90
合計		分 1,980
		時間 33
教材	パワーポイント、資料 等	
評価方法	レポート、実技(面接練習の所作)等で評価	